

令和7年度 学力向上に係る効果的な取組事例

「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」

八潮市教育委員会・八潮市立八幡小学校

「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を目指した取組事例

○学年・教科名 第5学年「算数」 ○単元名 比べ方を考えよう

◎目標

単位量あたりの大きさの考えを基に、速さの比べ方を図や式を用いて考え、説明することができる。
【思考力、判断力、表現力等】

○取組の工夫

- ・児童の学びを深める「ま・つ・だ」の活用
- ・複線型授業「SHOW TIME」

つかむ
見通す

【課】 時間も距離も違うときの速さは、どのように比べればよいだろうか。

考える

自分の考えを表現しよう

- 【ま】 まず、～
- 【つ】 次に、～
- 【だ】 だから、～

取組の工夫①「ま・つ・だ」の活用

「考える」場面で「ま・つ・だ」(まずは～、次に～、だから～)を基に自分の考えを整理しながらノートに書く。

深める

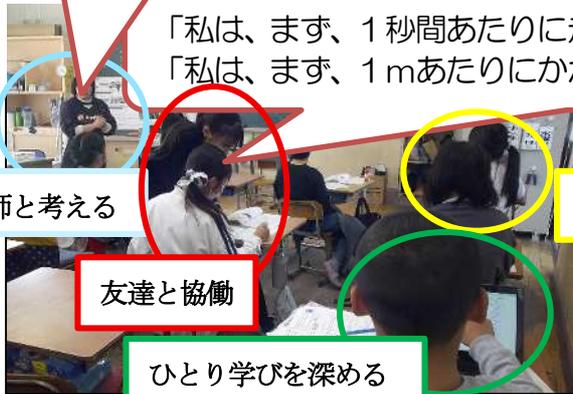
取組の工夫②複線型授業「SHOW TIME」

児童一人ひとりが自分の興味や能力に応じて学習方法を複数の中から選び、主体的に学習を進めることができる。

「まず」は1秒間あたりに走った距離を数直線で考えました。「次に」から教えてほしいです。

八潮スタンダードの流れ

教師と考える



友達と協働

ひとり学びを深める

個人で解決

SHOWTIME

- ① そのままひとりでがんばる。(教科書で調べてOK)
- ② ヒントがほしい。先生からヒントをもらい、もう少しひとりで考える。
- ③ 先生と考える。
- ④ 友達と協力して考える。
- ⑤ 友達にアドバイスしてほしい。
(「ま・つ・だ」のどこが分からないのかを伝える)
- ⑥ できたので、できた友達と答えや考え方を伝え合い、ちがう方法の解き方を知る。
- ⑦ できたので、アドバイスが欲しい友達に教える。
(「ま・つ・だ」のどこが分からないのかを聞く)
- ⑧ ひとり学びを深める！(似たような問題を解くプリント、eライブラリなど)

取組の工夫③「ま・つ・だ」の活用

協働的な学習場面では、「ま・つ・だ」を用いて児童同士での話合いの質を高めるようにする。

まとめる

【ま】 時間も距離も違うときの速さは、1秒間あたりに走った距離や1mあたりにかかった時間を調べれば、比べることができる。